

2022年7月25日

一般社団法人 日本船主協会

## 愛知県大府市にて楽しみながら船や海を学べるイベントを開催 ～絵本作家との初めてのコラボレーション企画～

当協会では、日本の暮らしと産業を支える海運をはじめとする海事産業の重要性を広く一般の皆様にご覧いただくための広報活動を全国各地で開催しております。

新型コロナウイルスの影響により、多くの対面型のイベントが制限を余儀なくされている中ですが、この度、空とぶろバ出版主催のもと、(一財)海技振興センターが旗振り役となり、日本水先人会連合会、(公財)日本海事広報協会並びに J-CREW プロジェクト ～やっぱり海が好き～、と協力し、現役船長によるお話や絵本作家とのコラボレーション企画として、船や海について楽しみながら学べるイベントを7月23日(土)にリソラ大府ショッピングテラス(愛知県大府市)にて開催しましたので、その模様をお知らせします。当日は親子を中心に約300名の方が来場しました。

川崎汽船(株)の船長による海運に関するお話では、船種、船員の仕事、船内での生活および食事等について紹介し、参加した親子からは「海運に対する興味が深まった」「わかりやすい」といった声が聞かれました。全4回実施し、全て満席となりました。



会場内には絵本「うみのパイロットさん」※の作家、はし ももか さんとの海と船の塗り絵コーナーも設置しました。参加した子どもたちの、思い思いの塗り絵作品を嬉々として作り上げていく姿が印象的でした。指導にあたった はし ももか さんによると、「船長のお話を聞いた後塗り絵に取り組んだ子どもたちは、船に対するイメージがより膨らみ、絵のタッチも鮮明なものになっていた」との事でした。

来場者には、海事関連諸団体よりご提供いただいた海運を紹介するイラスト集やDVD等各種グッズや資料の詰め合わせが配布されました。



この他、フォトブースも設けられ、来場者は船長との記念撮影も楽しんでいました。

子どもたちのみならず、保護者も本イベントに参加し、海運に対する興味が深まった結果、各ご家庭の中でも海運の話題が上るようになる事を期待しております。

当協会は、同県豊橋市にて川崎汽船並びに日本海事広報協会が長年実施する商船見学会や出前授業に資料提供等を通じてこれまで協力するなど、同県内での海事産業の周知に努めております。今回は絵本作家との初めてのコラボレーションとなりましたが、海事関連諸団体とともに海事クラスター一体となり、今後もより多くの皆様に海事産業の重要性の周知・普及に注力してまいります。

※「うみのパイロットさん」(日本水先人会連合会と海技振興センターの共同制作)は、主人公の船「マルクン」が「パイロットさん」の助けを借りて、広い海を渡り遠くの島までの航海に挑戦する様子を通じて、水先人の仕事(内容、重要性等)を親しみやすく、シリーズ形式で紹介した絵本です。最新作では、パナマ運河をテーマにした内容となっております。同絵本は国内の小学校および海外の日本人学校に寄贈されておりますが、今回新たに豊橋市と今治市の小学校にも寄贈を予定しております。

以上

